



各位

平成 29 年 10 月 30 日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所
 代表者 代表取締役会長兼社長 川崎 博也
 (コード番号 5406)
 問合せ先 秘書広報部長 楠山 泰司
 (TEL 03-5739-6010)

**第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正、
並びに配当予想の修正に関するお知らせ**

第2四半期業績予想(平成 29 年7月 28 日に公表した第2四半期連結業績予想及び平成 29 年4月 28 日に公表した第2四半期個別業績予想)と、同期間の実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

また、当社及び当社グループ会社における製品に対する不適切行為が業績に与える影響を現時点で見通すことが困難なため、下記のとおり、通期の業績予想については、親会社株主に帰属する当期純利益(連結)と当期純利益(個別)を未定とし、中間配当については、誠に遺憾ながら見送ることいたしました。

お客様、お取引先様、株主様そのほか多数の皆様にご迷惑をお掛けしておりますこと、改めて深くお詫び申し上げます。

記

1. 第2四半期業績予想と実績との差異

平成 30 年3月期第2四半期(累計) 連結業績予想と実績との差異(平成 29 年4月1日～平成 29 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年7月 28 日公表)	百万円 930,000	百万円 40,000	百万円 30,000	百万円 25,000	円 銭 69.01
実績(B)	907,058	51,425	45,798	39,349	108.62
増減額(B-A)	△22,941	11,425	15,798	14,349	
増減率(%)	△2.5	28.6	52.7	57.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 29 年3月期第2四半期)	815,130	30,995	12,320	4,109	11.31

平成 30 年3月期第2四半期(累計) 個別業績予想と実績との差異(平成 29 年4月1日～平成 29 年9月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年4月 28 日公表)	百万円 530,000	百万円 30,000	百万円 30,000	円 銭 82.66
実績(B)	513,156	43,178	45,607	125.66
増減額(B-A)	△16,843	13,178	15,607	
増減率(%)	△3.2	43.9	52.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 29 年3月期第2四半期)	445,638	4,561	6,914	19.00

※当社は、平成 28 年 10 月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、平成 29 年3月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 通期業績予想の修正

平成 30 年3月期通期 連結業績予想数値の修正(平成 29 年4月1日～平成 30 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年7月 28 日公表)	百万円 1,880,000	百万円 80,000	百万円 55,000	百万円 35,000	円 銭 96.61
今回修正予想(B)	1,880,000	75,000	50,000	—	—
増減額(B-A)	0	△5,000	△5,000	—	
増減率(%)	0	△6.3	△9.1	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年3月期)	1,695,864	9,749	△19,103	△23,045	△63.54

平成 30 年3月期通期 個別業績予想数値の修正(平成 29 年4月1日～平成 30 年3月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 29 年4月 28 日公表)	百万円 1,040,000	百万円 40,000	百万円 40,000	円 銭 110.21
今回修正予想(B)	1,060,000	40,000	—	—
増減額(B-A)	20,000	0	—	
増減率(%)	1.9	0	—	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年3月期)	923,700	△16,557	△6,319	△17.39

※当社は、平成 28 年 10 月1日を効力発生日として、10 株を1株とする株式併合を実施したため、平成 29 年3月期の期首に当該株式併合が行なわれたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 第 2 四半期業績予想と実績との差異及び通期業績修正の理由

前回公表した第 2 四半期業績予想(平成 29 年 7 月 28 日に公表した連結業績予想及び平成 29 年 4 月 28 日に公表した個別業績予想)と比較すると、鉄鋼などにおいて、想定していたコスト悪化要因が顕在化しなかったことや、保全費等が下期へずれたことに加え、建設機械において、国内の排ガス規制前の駆け込みで販売台数が増加したことなどから、連結の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益及び個別の経常利益、四半期純利益は増益となりました。なお、このたび判明しました当社及び当社グループ会社における製品に対する不適切行為による当第 2 四半期累計期間の業績への金額影響は僅少であります。

また、通期の業績予想については、当社及び当社グループ会社における製品に対する不適切行為に関連して、アルミ・銅セグメントにおいて品質管理の適正化に伴う不良率の増加によるコストアップや生産量減少、及びこれまでに公表した事案に係る不適合品の在庫処分による業績の悪化影響を考慮し、また当社グループの販売活動に与えるリスクについて一定の想定をしたうえで営業利益、経常利益に反映しておりますが、それらを除く顧客等への補償費用を始めとする業績悪化要因の影響を現時点で見通すことが困難なことから、親会社株主に帰属する当期純利益(連結)及び当期純利益(個別)を未定といたします。

製品に対する不適切行為については、以下の発表資料もご参照ください。

平成 29 年 10 月 8 日(※)「当社が製造したアルミ・銅製品の一部に関する不適切な行為について」

※ TDnet での開示日は平成 29 年 10 月 9 日

平成 29 年 10 月 11 日 「今回の不適切行為に関するご報告について（鉄粉及び検査会社事例）」

平成 29 年 10 月 13 日 「当社及び当社グループ会社における不適切行為に関するご報告について」

平成 29 年 10 月 17 日 「米国司法当局からの書類提出要求について」

平成 29 年 10 月 20 日 「当社グループ会社における不適切行為について（JIS マーク表示製品での不適切な行為、自主点検で新たに確認した不適切な行為）」

平成 29 年 10 月 20 日 「当社グループの品質自主点検における妨害行為について」

平成 29 年 10 月 26 日 「当社グループにおける不適切行為について（「安全性の検証状況」と「外部調査委員会の設置について」のご報告）」

平成 29 年 10 月 26 日 「当社子会社の株式会社コベルコ マテリアル銅管における JIS 表示認定取り消しについて」

平成 29 年 10 月 27 日 「(訂正)「当社グループにおける不適切行為について（「安全性の検証状況」と「外部調査委員会の設置について」のご報告）」の一部訂正について」

平成 29 年 10 月 27 日 「(訂正)「当社グループにおける不適切行為について（「安全性の検証状況」と「外部調査委員会の設置について」のご報告）」の一部訂正について」の一部訂正」

4. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (平成 29 年 7 月 28 日発表)	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—			
前期実績 (平成 29 年 3 月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

※当社は、平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、10 株を 1 株に併合する株式併合を実施しております。

修正の理由

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の中間配当につきましては、1 株につき 10 円とする方針としておりました。しかしながら、このたび判明しました製品に対する不適切行為に関し、顧客等への補償費用を始めとする業績悪化要因の影響を現時点で見通すことが困難であり、通期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想が困難なことから、誠に遺憾ながら中間配当を見送ることを決議いたしました。なお、期末配当につきましては、未定としております。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。